

理科

タンポポについての^{きじゆつ}記述を読んで、【 1 】～【 10 】に入る言葉をそれぞれ選びなさい。

公園や校庭でよく見かけるタンポポ。このタンポポには、カントウタンポポやシロバナタンポポといった日本に昔からあった種類と、セイヨウタンポポという外国からきた種類があります。前者は^{ざいらい}在来植物、後者は【1. ア. ^{こくさい}国際 イ. 帰国 ウ. 帰化】植物とよばれます。セイヨウタンポポは^{ざいらい}在来の種類とくらべると、種子が【2. ア. 軽く イ. 重く】、できる種子の数は【3. ア. 多く イ. 少なく】になっています。さらに、セイヨウタンポポは【4. ア. 受粉 イ. 合成 ウ. 開花】しなくてもなかまをふやすことができるため、日本ではセイヨウタンポポがだんだんふえてきているのです。

タンポポは季節ごとに^{こと}異な^{すがた}った姿を見せてくれます。春、タンポポは花を^さ咲かせます。この花は、じつはたくさんの花が集まっていできており、このような花の部分を【5. ア. 体花 イ. ^{とうか}頭花 ウ. 合花】とよびます。1つの花には5枚^{まい}の花びらがつき、1枚^{まい}の花びらのように見えます。このように、花びらがくっついている植物のことをまとめて【6. ア. ^{りべんか}離弁花 イ. 一弁化 ウ. ^{ごうべんか}合弁花】といい、ほかにもアサガオなどがあります。ところでタンポポの花は晴れた日中には開いていますが、くもりや雨の日には^と閉じてしまいます。つまり、タンポポは【7. ア. 明るく イ. 暗く ウ. 暑く】になると閉じる性質を持っていることがわかります。春の終わりから夏にかけては、タンポポは種子をつけます。この種子はとても軽く、風に飛ばされやすいので【8. ア. 遠く イ. 近く】まで運ばれるようになっていきます。秋になると、種子が芽を出し始めます。夏にしげっていた植物がかれ始めますから、他の植物に栄養をうばわれにくく、タンポポは成長しやすいのです。冬、タンポポは地面に^{ほうしゃじょう}放射状に葉を広げます。このような状態を【9. ア. 冬芽 イ. ^{ちかけい}地下茎 ウ. ロゼット】といいます。葉を地面にはりつけることで冬の冷たい風にあたるのを防ぎ、^{ほうしゃじょう}放射状に葉を広げることで【10. ア. 風 イ. 水 ウ. 光】を利用しやすくしているのです。



理科

- | | | | | |
|------|------|------|------|-------|
| 1. ウ | 2. ア | 3. ア | 4. ア | 5. イ |
| 6. ウ | 7. イ | 8. ア | 9. ウ | 10. ウ |

公園や校庭でよく見かけるタンポポ。このタンポポには、カントウタンポポやシロバナタンポポといった日本に昔からあった種類と、セイヨウタンポポという外国からきた種類があります。前者は在来植物、後者は【1. 帰化】植物とよばれます。セイヨウタンポポは在来の種類とくらべると、種子が【2. 軽く】、できる種子の数は【3. 多く】なっています。さらにセイヨウタンポポは【4. 受粉】しなくてもなかまをふやすことができるため、日本ではセイヨウタンポポがだんだんふえてきているのです。

タンポポは季節ごとに異なった姿を見せてくれます。春、タンポポは花を咲かせます。この花は、じつはたくさんの花が集まっていできており、このような花の部分を【5. 頭花】とよびます。1つの花には5枚の花びらがつき、1枚の花びらのように見えます。このように、花びらがくっついている植物のことをまとめて【6. 合弁花】といい、ほかにもアサガオなどがあります。ところでタンポポの花は晴れた日中には開いていますが、くもりや雨の日には閉じてしまいます。つまり、タンポポは【7. 暗く】になると閉じる性質を持っていることがわかります。春の終わりから夏にかけては、タンポポは種子をつけます。この種子はとても軽く風に飛ばされやすいので【8. 遠く】まで運ばれるようになっています。秋になると、種子が芽を出し始めます。夏にしげっていた植物がかれ始めますから、他の植物に栄養をうばわれにくく、タンポポは成長しやすいのです。冬、タンポポは地面に放射状に葉を広げます。このような状態を【9. ロゼット】といいます。葉を地面にはりつけることで冬の冷たい風にあたるのを防ぎ、放射状に葉を広げることで【10. 光】を利用しやすくしているのです。

ワンポイント

秋になるとイロハカエデは赤く色づき、紅葉となります。気温が下がってくると葉の付け根に水分や養分がたまってしまい、葉の中で合成された養分がそこでたまっていくのです。この養分から「アントシアニン」という赤い色素が作られます。一方で、葉を緑に見せている色素「クロロフィル」は寒さが厳しくなるにつれ、分解されます。こうして葉が赤く見えるようになるのです。

